

自慢館特設会場

ほたるコンサートを開催

ほたるコンサートが、五月十八日(土)自慢館で開催されました。これは、毎年「ドリームつるだ」の主催で開催されており、今回で八回目を迎えます。

今回は、「自然との出会い・自然との戯れ・自然との語り」をテーマに、旭・しび保育園園児による合唱・合奏、コールひまわりによるコーラス、柏原小学校児童による合奏・合唱、野田ハーモニカ教室の皆さんによるハーモニカ演奏、柏原小学校の久徳展義教頭先生によるギター演奏、抽選会等が行われ、夜空を飛び交うホタルとの競演に約二百五十人の来場者も聞き入っていました。



柏原小学校児童による合唱



九州初

奥薩摩のホタル舟

「第一回奥薩摩のホタル舟」(奥薩摩のホタル舟実行委員会主催)が、五月十八日(土)から運航を開始され、多くの乗客が無数に飛び交うホタルの様子に驚きの声を上げていました。

このホタル舟は、奥薩摩・水と緑の郷づくり構想の一環として実施され、龍舟祭等を利用してドラゴンボートを二艇ずつ固定した舟を使用し、ホタルが乱舞する神子橋周辺の川内川(約二km)を下りました。

五月十八日(土)は、午後七時から保健センター前で開会式が行われ、「九州初のホタル舟を心行くまで楽しんでください。」との実行委員長上大迫重規さんのあいさつのあと、第二ダム下流の乗船口へ出発しました。午後八時、乗船客を乗せたホタル舟が出発し、約四十分間、舟上から無数のホタルの乱舞を楽しみました。加世田市から来られ

た親子連れは、「こんな幻想的な光景は初めてです。二時間かけて来た甲斐がありました。ぜひまた乗りたいです。」と興奮しながら話されていました。

また、五月二十四日(金)には、川内川河畔の水辺の楽校ステージで、野外コンサートが開かれ、鶴田保育所の遊戯、鶴田小学校の合唱、バンドグループ「LINK」の演奏が行われ、来場された約二百人の観客は聞き入っていました。



保育所の園児による遊戯

門前集落

ホタル鑑賞会を開催

門前集落のホタル鑑賞会が、五月十七日(金)紫尾川で開催されました。これは昨年から開催されているもので、当日は小雨が時おり降る中、集落民のほか紫尾区民約五十人が参加しました。午後七時公民館長の外園一行さんのあいさつで始まり、鶴田小学校学校主事の舟倉孝行さんからホタルの生態やオスとメスのホタルの見分け方など説明があり、話が終わる頃

には無数のホタルが飛び交い始めました。早速参加していた子どもたちが、ホタルを手のひらに乗せ、「これはオスだ。こちらはメスだ。」と言って見分けていました。

辺りが真つ暗になった八時ごろになると驚くほどの無数のホタルが光り幻想的な雰囲気をもたらし出していました。参加者の一人はホタルの光を見て「夏のクリスマスですわね。」と話していました。

多くのホタルが見られました



ホタルを楽しむ参加者

